

第1回避難訓練（地震学習）実施計画

令和5年4月20日

1 目的 本校の震災時における生徒の安全確保と被害防止のために行う。

2 期日 令和5年4月28日（金曜日）

クルグラットを使うために、芦北町役場総務課に
事前に連絡を入れておく。（86-2511）

3 日程

※6時間目に道徳を行う。（教材「つなぐ」を使って授業をする。）

1年「ありがとう」 2年「立ち上がろう嘉島町」 3年「祖父の涙」

※ 避難訓練は「アフカメ」の時間帯で行う。

(1) 15:45～ 事前指導

(2) 15:50～ 地震発生放送（中田）※Jアラートは放送室の訓練用テストスイッチを使用

(3) 16:00～ 避難開始

(4) 16:05～ グラウンド集合完了（授業者と学級委員で人数確認をする）

(5) 16:10～ 感想発表（1年1組、2組 2年1組、3年1組）

(6) 16:15～ 講評（校長先生）※避難の様子含む

(7) 16:40 終了予定 ※事後指導（感想用紙記入）帰りの会を含む

※スリッパを水道で洗い、雑巾で拭いて教室に戻る。

（スリッパ洗い場所：1年理科室下階段 2年生徒昇降口 3年体育館入り口）

4 分担任務

地震が起きたら、職員室でアクションカードを使って職員の役割分担

（下の分担は仮。当日は変更あり）

アクションカード配布⇒中田 総指揮官⇒校長 救護班 ⇒草野 中田⇒放送, 時間計測, 人員確認

各学級担任⇒生徒の誘導

学年主任⇒逆走し、生徒の避難経路を直ちに確認。

ボランティア委員会担当⇒雑巾準備・片付け

放送委員⇒外用放送器具準備

5 詳細

避難経路の確保(学年主任又は学年担当)

- ・校内放送で避難する場所が示されたら、各学年担当を職員室で決定し、避難経路を確認し、逆走して教室に連絡に行く。
- ・避難担当が誘導しながら避難場所に生徒を連れていく。

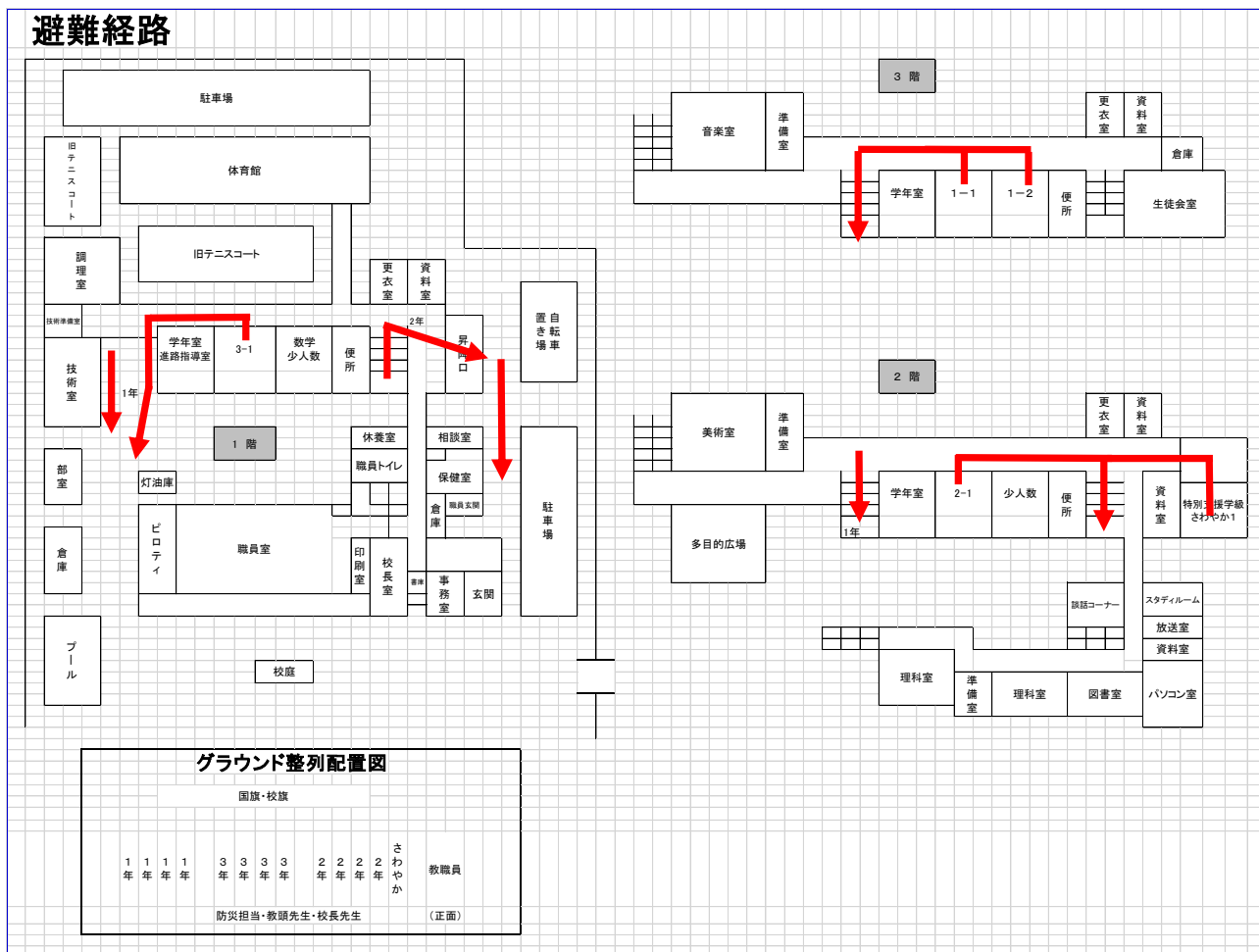
避難要領(学級担任・授業担当)

- ・まず、教室等の出口の確保し、最後に生徒の居残りの有無を確認する。電気を消して避難する。
- ・整列後は、クラスの人数を把握して教頭へ報告する。
- ・保健室や相談室等の生徒に関しては、担当が避難完了したことを学級担任に伝える。
- ・避難するときは原則として、体だけ。生徒の把握は名簿で確認する。

避難要領(学級担任・授業担当から生徒へ)

- ・放送をよく聞く。机の下に隠れる。頭を守る。
- ・机の下への避難が終わったら、生徒に事前指導を行う。（想定される危険や、避難する時の心得）
- ・避難の三原則「押さない、**走らない**、しゃべらない」を徹底して守る。
- ・人命に関わる重大問題なので、ふざけたり、人に迷惑かけたりしない。真剣に取り組む。

6 避難経路



7 その他（防災担当から）

今回は、学級担任が授業をしている時を想定していますが、いつ地震が起こるか分からないので自分が授業者だったらどうするのか、職員室にいたらどう対応するのかを考えながら訓練を行ってください。また、放送が使えない時のパターンも考えています。職員で、内容の検討を行った後、生徒の訓練を行います。

※ 避難時間は計測しますが、避難は時間ではなく、安全確保と人数確認の徹底を重要視します。

昨年の避難時間「3分56秒」（職員がアクションカードで確認してから生徒が整列し人数確認ができるまでの時間）

※ 避難が完了したら、職員は素早く集合し、情報交換をする。

8 放送内容 **放送は、緊急時のボタンを押して流す。）**

「先ほど、大きな地震がありました。今、避難経路を確認しています。確認が終わるまで、教室で待機しておいてください。確認後、先生の指示に従って非難してください。繰り返します。今、避難経路を確認しています。確認が終わるまで、教室で待機しておいてください。確認後、先生の指示に従って避難してください。これで放送を終わります。」

いつ	どこで	放送器具	けが人
授業中・休み時間・給食	教室・特別教室・その他	使える・使えない	重傷・軽傷・なし